

■レディスプレリュード (JpnII) アラカルト (過去 13 回の分析)

- ※第 1 回 (平成 16 年) から第 7 回 (平成 22 年) までは「TCK ディスタフ」の名称で実施
- ※第 8 回 (平成 23 年) からは指定交流競走として実施
- ※第 10 回 (平成 25 年) からはダートグレード競走として実施
- ※第 13 回 (平成 28 年) は 2 頭が 2 着同着
- ※記録は平成 29 年 9 月 19 日時点

■ 1～2 番人気馬はますます堅実だが 3 番人気馬は不振

単勝 1 番人気馬は 6 勝、2 着 3 回、3 着 1 回で 3 着内率が 76.9%、単勝 2 番人気馬は 5 勝、2 着 2 回、3 着 1 回で 3 着内率が 61.5%となっている。一方、単勝 3 番人気馬は 0 勝、2 着 2 回、3 着 0 回で、3 着内率が 15.4%にとどまっていた。

■ 1～3 番人気馬が 1～3 着を占めた例は未だゼロ

過去 13 回のうち 11 回は、単勝 3 番人気以内の馬が勝利を取めている。なお、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツーフィニッシュ決着は 6 回あったが、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツースリーフィニッシュ決着はまだない。

■ パフィオペディラムとミラクルレジェンドが“連覇”を達成

レディスプレリュードにおいて 2 回以上の優勝経験があるのは、第 4 回と第 5 回を制したパフィオペディラム、第 8 回と第 9 回を制したミラクルレジェンドの 2 頭で、いずれも 2 回連続の優勝だった。

■ 優勝馬の約 4 分の 3 は 4～5 歳馬

馬齢別の勝利数を見ると、3 歳が 1 勝、4 歳が 4 勝、5 歳が 6 勝、6 歳が 1 勝、7 歳が 1 勝で、4～5 歳の馬が全体の 76.9%を占めている。

■ 外国産馬は 1 勝

外国産馬の優勝例は第 7 回のザッハーメインによる 1 回だけである。

■ 指定交流競走となつてからは 3 着内馬の 9 割近くが JRA 勢

指定交流競走となつた第 8 回以降の計 6 回に限ると、地方所属馬は 0 勝、2 着 1 回、3 着 1 回、JRA 所属馬は 6 勝、2 着 6 回、3 着 4 回となっている。3 着以内馬延べ 18 頭のうち、88.9% が JRA 所属馬だ。

■ 騎手別の歴代最多勝記録は「3」

騎手別の勝利数を見ると、岩田康誠騎手が 3 勝で単独トップ、左海誠二騎手が 2 勝で単独 2 位となっている。

■ 調教師別の歴代最多勝記録は「2」

調教師別の勝利数を見ると、岡林光浩調教師、藤原英昭調教師、山浦武調教師が 2 勝でトップタイとなっている。

■ 優勝例のない枠番は 4 枠だけ

枠番別の勝利数を見ると、4 勝の 3 枠が単独トップ。3 勝の 7 枠が単独 2 位、2 勝の 6 枠が単独 3 位である。なお、未勝利の枠番は 4 枠だけだ。また、馬番別の勝利数を見ると、3 勝の 5 番が単独トップ、2 勝の 12 番が単独 2 位だった。ちなみに、未勝利の馬番は 2 番、9 番、10 番、11 番、14 番、16 番だ。

<伊吹雅也>